

日本歯科麻酔学会総会・学術集会準備状況

第48回日本歯科麻酔学会総会・学術集会がWeb開催となりました！

第48回日本歯科麻酔学会総会・学術集会会長
徳島大学 北畑 洋

会員の皆様も新型コロナウイルス感染症拡大との戦いで、日々大変な思いをされていることとお察しいたします。そのような状況にも関わらず、第48回総会・学術集会の一般演題には例年の約8割に当たる160題の応募をいただき、本当に感謝申し上げます。

徳島、そして四国で初めての本学会開催に向け準備を続けて参りました。しかし残念ながら感染症拡大の収束は見通せず、第2波襲来の恐れもあり今後の展望はいまだ不透明です。同時期に開催される他学会もほとんどがWeb開催または延期/中止を決定しています。また会場であるアスティとくしまは、構造上3密を避けることが困難であると判断しました。これらの状況から慎重な審議を重ねた結果、現地、徳島での開催を中止し、Web開催とすることに決定いたしました。会員の皆様には、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

本学会にとってWeb開催は初めてのことであり、まだ検討中の事案が多くありますが、できる限り会員の皆様にとって有意義な学術集会にしたいと願っています。

Web開催はオンデマンド形式としますが、より魅力的なものにするため、シンポジウムや一部の講演は、討論を含めた録画を行いLive配信のような形で視聴できるよう準備する予定です。教育講演や教育講座などが、移動を伴わずご自宅等からも繰り返し視聴できる点はWeb開催の利点であるかもしれません。一般演題はePosterの登録と参加登録をもって発表と認定し、例年通りデンソプサイシロナ賞の選考も行う予定です。すでに参加登録をいただいた方へのご案内や単位認定などWeb開催の詳細は随時、学術集会ホームページでお知らせしますので、ご確認をお願いいたします。

会員の皆様に徳島にお越しいただけないのは本当に残念でなりません。COVID-19パンデミックは過去に経験したことのない国難であり、会員の皆様のご協力がこれほど必要な総会開催は過去にはありません。ぜひ多くの会員の皆様のご支援、ご参加をお願い申し上げます。

最後に、本来配信予定だった準備状況の原稿を断腸の思いで添えさせていただきます。徳島のご紹介もあり、ぜひ読んでみてください。

踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら来な損々！（徳島へ行くんじょ～）

会員の皆様、新型コロナウイルス感染症拡大との戦いで、日々ご苦労されていることとお察しいたします。10月9日（金）から11日（日）の3日間、徳島、そして四国で初めて日本歯科麻酔学会総会・学術集会を開催できるよう、現在、鋭意準備を進めています。原稿を書いている5月中旬、まだ感染症拡大の出口がはっきりと見えないなか、秋の開催に不安を抱かれています方も多いかもかもしれませんが、会員の皆様に最善の形でご参加いただけるようにしていきたいと思っております。

1. プログラムがなんだか何時もと違う

今回のテーマは、「明日につなぐ歯科麻酔科学—フロンティアを目指して—」としました。「フロンティア」には最先端という意味と新たな領域という二つの意味があります。特別講演では、宇宙栄養学で有名でマスコミにも登場する二川 健先生にフレイルに通じる無重力状態での筋萎縮に関して、また小坂橋俊哉先生には日本麻酔科学会理事長として日本歯科麻酔学会と日本麻酔科学

会、両学会の今後についてお話しいただきます。教育講演/教育講座は“up to date”シリーズとして、各分野のエキスパートの先生方に最新の知見やpro/conをわかりやすく解説していただきます。日本小児麻酔学会理事長の鈴木康之先生による「小児麻酔」をはじめ、「歯科麻酔科医のための循環器疾患」「呼吸管理」「悪性高熱症」などトピックス満載です。また教育講座では、心肺蘇生法2020ガイドラインの展望についての解説があります。専門医機構による新たな専門医制度では、国民からも理解される質を担保したプロフェッショナルが求められます。ぜひ今回の教育講演/教育講座を通じて、皆様の知識を最先端のものにupdateしてください。

久保田康耶記念講演は、吉田和生先生がセボフルランに関する研究について講演され、その他にも学会企画として宿題報告、学会企画教育講座を予定しています。シンポジウムは「歯科麻酔に寄せる社会からの期待にどう応えるか」「学会認定衛生士の可能性」「静脈内鎮静法、

何を求めるか、何が求められるか」と題して、期待の若手演者やベテラン司会者に登場いただきながら、活発な討論を繰り広げていただく予定です。

2. ePoster（電子ポスター）って何？

一般演題は、すべてePoster（電子ポスター）で行います。ASAやESAなど海外の学会、国内の規模の大きな学会では既にePosterで発表が行われています。会員の先生方の中には、初めての方もおいでだと思いますが、マニュアル通りに発表資料（PDFファイル）を作成すれば会場に紙のポスターを持って行くこともなく、手ぶら？で参加できます。今回、ポスター会場を分割しているの、口演と従来のポスター発表の中間的なイメージの発表です。

3. 認定医・専門医更新のための講習会単位が4単位取れる

歯科麻酔専門医・認定医の規則が改正され、2020年より認定医・専門医資格更新要件の一つに、認定講習会・リフレッシャーコース受講が義務化されました。認定医の更新には8単位、専門医更新には16単位が必要となります。今回は「神経障害性疼痛に関する最新の知見」と「高度認知症患者の歯科治療時の全身管理」の2つの認定講習会を予定しており、会期中に4単位獲得できます。各講習会には定員がありますので、ぜひ早めの申込をお願いいたします。

4. 特別企画が面白そう！

大塚国際美術館学芸員の富浦敦子さんに「“Play art”～旅するように。世界中のアートを観て、触れて、楽しもう～」というタイトルで大塚国際美術館の楽しみ方を解説していただきます。大塚国際美術館では、陶板で再生された世界中の絵画や彫刻、システィーナ・ホールなどの空間そのものを時代別に観覧できます。この機会に、米津玄師さんの紅白中継でも注目された大塚国際美術館を訪れてみようと思われている方は必聴です。私自身もぜひ聴いてみたいと期待しています。

5. 懇親会で阿波踊りができるらしい

徳島駅直結のホテルクレメントで懇親会を行います。タイトルにある「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら…」は阿波踊りの歌である「よしこの」からとったものですが、会場ではこの、よしこののリズムに合わせて、岡秀昭さん率いる有名連の娯茶平連 (<http://gojyahei.com>) が元気な踊りを披露してくれます。今回、初めて学会参加者同伴のお子様（～高校生まで）も参加でき、阿波踊りを一緒に楽しみいただけます。

6. 四国そして徳島が初めての方へ

四国の地図上で徳島がどこかわからないあなた！徳島の魅力は、その雄大な自然と美味しい食べ物です。鳴門海峡の渦潮は世界最大規模で、その名の通り（鳴る門）大きな音を立てて激流が流れています。横から海面を見ると瀬戸内海側と太平洋側の段差がわかるほど。この絶景を大鳴門橋の足下がガラス張りの「渦の道」や観潮船から楽しめます。秘境祖谷のかずら橋は、屋島の源平合戦に敗れた平家の落人が作ったと言われる吊り橋。簡単に切り落とせるように葛でできています。歩いて渡ると横木と横木の隙間が10cm以上あり、はるか下に谷底が見えます。しかも民謡にもあるように、ゆらゆら揺れてスリル満点。「祖谷のかずら橋や 蜘蛛の巣のごとく 風も吹かんに ゆらゆらと…ゆらゆらと」。

おすすめグルメとしては、徳島ラーメン（またメルマガで詳細情報をお届けします）、鳴門鯛、阿波尾鶏、祖谷そば、なると金時、阿波牛や鳴門ワカメなど盛り沢山です。山の幸と太平洋、瀬戸内海から獲れる海の幸の両方をお楽しみください。

また観光名所に加え、阿波踊りはもちろん、国指定重要無形文化財の阿波人形浄瑠璃や藍染体験など、伝統芸能/文化もご堪能いただけます。四国の霊場、四国八十八カ所の遍路道も、徳島県の第一番札所「霊山寺」から始まります。

会場には託児所も設置しております、この機会に四国、徳島を充分満喫していただきたいと願っています。ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしています。



徳島県のゆるキャラ達。左からトクシイ、ヒロシ、すだちくん、かわに〜ズ